

関係者各位

ご挨拶

日本医療マネジメント学会
第17回和歌山支部学術集会会長
和歌山ろうさい病院長 南條 輝志男

謹啓

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、日本医療マネジメント学会第17回和歌山支部学術集会を下記の通り開催する運びとなりました。日本医療マネジメント学会はクリティカルパス研究会の活動を基盤に発足し、和歌山支部も発足して17年が経ち、医療安全、医療連携、災害医療等に関する研究・報告がなされ、これまで医療の質の向上に貢献して来たものと存じます。

今回のメインテーマは『公と個のマネジメント ～和歌山県の目指すべき医療を考える～』とさせて頂きました。ここ3年間は世界中でコロナ禍での医療の在り方について模索されて参りました。皆様もその中で、「公(国・都道府県・医療圏)」のマネジメントと「個(各医療機関内・各職種間)」のマネジメントが上手く連携することの重要性を痛感されたのではないのでしょうか。その経験から今回のメインテーマを決めさせて頂きました。

本学術集会は医師、看護師、コメディカル、事務職員等幅広い医療関係者のみならず、行政の方々も参加されます。皆様の積極的なご発表と、活発なご討議を通じ、公と個の各機関、職種間の情報交換や交流がなされ、「和歌山県の目指すべき医療を考える」機会となれば幸甚と存じます。皆様の積極的なご発表とご参加をお願いし、学会場にてお会い出来ますことを楽しみにしております。

謹白

記

日時：2023年2月4日(土)

場所：〒640-8392 和歌山市中之島2252 宝塚医療大学 和歌山保健医療学部

□会長講演：学術集会 会長 南條 輝志男

「コロナ禍医療マネジメントにおける公と個の融合の重要性」

□ランチョンセミナー：東京女子医科大学 名誉教授 大森 安恵

「妊娠糖尿病と糖尿病合併妊娠の違いについて～早期トータル・マネジメントの重要性～」

□特別講演：和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 教授 田島 文博

「活動性を育む攻めのリハビリテーション医療マネジメント～チーム医療と多職種連携の極意～」

□シンポジウム：和歌山県福祉保健部 技監 野尻 孝子

「コロナ禍における公と個のマネジメントの振り返り(仮)」

□一般演題 □演：34題

以上